

このたびは「第27回横浜環境活動賞」を受賞されましたこと、誠にありがとうございます。
例年、受賞者の皆様をお招きして表彰式を開催させていただいておりましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、誠に残念ながら、表彰式開催を断念することとなりました。受賞者の皆様には大変申し訳ございませんが、ご理解をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。
横浜市には、376万人の市民と12万の事業所があり、一人ひとりが日常生活や事業活動の中で環境の保全・再生・創造に取り組むその積み重ねが、横浜の大きな推進力になっています。本市では、花と緑があふれる「ガーデンシティ横浜」や環境先進都市を目指した様々な施策を推進していますが、その実現に向けては市民、企業、団体の皆様との連携がなくてはならないものです。
特に、横浜環境活動賞受賞者の皆様は、森や川や海、街でも身近な自然や生き物を大切に思ってください、日頃から環境を守る活動に率先して取り組んでいただき、本当にありがたく、頼もしく思っております。
横浜のかけがえのない環境を次の世代に引き継いでいくには、皆様の熱心な活動が、大きな力になります。今後ともぜひ一緒に、横浜の環境を守り、育ててくださいよう、どうぞよろしくお願いいたします。
末筆ながら、皆様の今後のさらなる活躍をお祈り申し上げます。

令和2年10月吉日
横浜市長 林 文子



第27回横浜環境活動賞 児童・生徒・学生の部 実践賞／生物多様性特別賞

横浜市立小机小学校

【団体概要】

- ◇ 活動の目的
学区にあり子どもたちにとって身近な存在である鶴見川や新横浜公園(遊水地)で、専門家とのかかわりながら環境省レッドリストの準絶滅危惧種サクラソウの自生の手助けをし、地域を理解し、地域に愛される子どもの育成を目指して取り組んでいる。
- ◇ 活動場所 …… 横浜市港北区小机小 新横浜公園
- ◇ 児童数／会員数 …… 630名(令和2年5月現在)
- ◇ 活動開始年 …… 2009年

【主な活動内容】

- 5月～11月 学校の鉢植えの水やり
- 12月 学校にてサクラソウの根起こし
- 1月 新横浜公園岸辺へのサクラソウの移植
- 2月 鉢植え用の新苗の植付
- 4月 新横浜公園でサクラソウの自生状況の観察
5～6年生の取組であったが、令和2年から2～3年生の生活科・総合的な学習の地域とかかわりながら学ぶ取組に移行する。小机小学校学校支援運営委員会が「新横浜公園に桜草の水辺をつくろうプロジェクト」として、「新横浜公園市民活動支援事業」として、横浜さくらそう会の協力を得て実施している。

【横浜環境活動賞を受賞して】

新横浜公園と横浜サクラソウ会の取組として始まり、近隣の学校と協力して行うも本校のみとなっていました。持続可能な体制とするため、学校が運営委員会をつくり、無理ない形で新横浜公園の協力・助成、横浜さくらそう会の協力を得て、年4回の活動という規模で「ゆったり」とすすめて3年が経ちました。半月ほどの開花時期に向けての地道な活動ですが、今回賞をいただけたことで関係者のみなさんと大変励みに感じています。
新学習指導要領の完全実施でカリキュラムの変更を考え、今後はサツマイモ等栽培を新横浜公園で行っている2年生から学区の一番の川寄りにある新横浜公園を春に訪ねて、そこからまち探検を社会科や総合的な学習の時間で行っていく3年生への取組へとして、今後も継続していきます。



6年生が12月に根起こし、1月に新横浜公園に移植しました



サクラソウとは？
湿地の根から春先に発芽し、4月ごろ小さな花を咲かせます
洪水で流されることも多く流れてきた根が新たに…
準絶滅危惧(INT)2007～



2年4月、今年も新横浜公園に咲きました